

檀信徒・霊園使用者各位に発行しています。

一年のしめくくり

平成25年ももうすぐ終わり。振り返るとほんとにあつという間ですね。禍福は糾える縄の如し（かふくはあざなえるなわのごとし）といいますが、今年も良いこと悪いこと、たくさんのお出来事がありました。

二月の大雪や夏の大雨と土砂災害、秋の台風も傷跡を残しました。火山の噴火や地震、天災と言われるものだけでも、たくさんのお被害がありました。また Deng 熱など今まで聞いたことがなかった新たな病気がはやり、怖い思いもしました。しかし一方、中村修二教授らのノーベル賞受賞や錦

織圭選手や羽生結弦選手らの大活躍、また、宇宙飛行士若田光一さん業績など、世界を相手に日本人がめざましい活躍を見せたすばらしい一年でもありました。

個人的には、今年はずいぶんあり、京都の本山はじめいろんなどころでお話しをさせていただきまして。上手くいったり行かなかったり。でもやっぱり大変ありがたい一年だったなあ、と思っております。一喜一憂、一刻千金。たくさんのお出来事に来年もまた誠実に向かい合って行きたいと思っております。

鬼餓施



「霊鑑を読み上げる住職」

今年も盛大にお施餓鬼が行われました。天気もよく暖かな日差しの中、たくさんの方にお参りいただきました。改めて御礼申し上げます。ありがとうございました。

法話

宝泉寺の開山は、室町時代後期。人々の心の糧となるべき仏法の基点として、この地に建立されました。

薬王山宝泉寺の開山は文亀3年（1503年）です。しかし開山年を示す正確な資料が残っていないのが実情で、そこでお寺をひらいた遠祖祖順禅師の没年（位牌に記銘）から推測したこの年を公に開山年次としています。しかしもう少し詳しい資料がないものかと、色々当たってみました。まず手に入れたのが、戦前当時の内務省が編纂した「新編武蔵風土寄稿」という本です。

「寶泉寺ハ禅宗臨濟派、同郡山田村廣園寺末、薬王山ト號ス。開山遠祖祖順、永祿七年十月十五日寂ス。本尊薬師、本堂四軒半四方南向」とわずか記載。その他の資料としては本寺である山田廣園寺の資料集が有力なのですが、これにも、「無之開祖臨濟宗二十八世之孫遠叟西堂永祿三年十月十一日寂ス」と、開山禅師の没年に若干の違いがあり、概ね「間口四軒奥行三軒半」とか「境内二百五十坪」などのやや寂しい記載しか見つからないのです。以前、近所に住む方に、昭和の初期に陸軍が撮影した航空写真を見せてもらったことがありまして、山中の一本道とそのハズレに建つ、小さなお堂が宝泉寺だというのです。がっかりもしたが、しかしずつと昔からかわらぬこの場所にあったのだなと、感心もしました。

ご本尊様は薬師如来座像。ご本尊の脇には眷属



「13世三光室老師の巻末文」



「門外不出の過去帳」

明治時代に兼務住職を務めていただいた三光室大徹道林禅師は大本山南禅寺の管長も務めた方ですが、この方が書き残された過去帳が現在、寺に残る最も古い記録です。この過去帳の最後には三光室老師の思いがこめられた一文があります。

「寶泉寺ハ法薫久シク継住ヲ欠、一山悉ク敗類シテ境内雀羅之外、又更ニ見ル可キ者ノ無シ。（中略）有志奮然トシテ法幢ノ揚ガラズルヲ慨シ、百万盡力、庫裏殿門大ニ復ス。（中略）嗚呼、殊勝ナル哉、諸士高滔ノ美志、赫々トシテ佛意ニ徹シ、餘慶四方ニ溢然タリ。其レ此ノ妙理ノ赴ク処、児孫必ス昌隆シ、功德全村ニ及シテ、千歳繁興、僧日増輝ノ楽土タラン。後世深ク之ヲ鑑ミ、子孫謹ミテ之ヲ憶ヘ」（訳）「宝泉寺には法を伝える僧がおらず境内は荒廃して見るべき物もない。（中略）そこで檀徒有志が憤慨して、力を合わせて庫裏や本堂を修復した。なんとこの高徳の志である。このような私心の無い素晴らしい偉業はあまねく四方に知れ渡ることだろう。このことから今後住職となる者は寺を護り、佛の功德を全村に行き渡らせ、この地を仏国土としなければならぬ。後世の檀信徒はよくこれを憶えておくように」

開山禅師も歴代住職も他の史料にはほとんど名前が出てこない無名の禅者です。しかし開山以来500年余り、ひっそりと、しかし脈々と釈尊の御教え伝え続けてきました。薬師如来も、また十二神将も、大衆の熱狂的な尊崇を集めたわけではないでしょう。祖母の言葉が踏まれば、それでも常に人々の暮らして共に在り、その厳しかったであろう生活の、ささやかな寄り添いとなり続けてきた、その一点こそが当寺の誇り最大の歴史であるようにおもわれます。長く静かな時間の中で、いったい幾人の人々が心からの祈りを捧げたことでしょうか。それを思うと、十六世となった今、震えるような感動と、引き締まる思いを感じるのです。歴史書には決して登場しない、「名も無き」市井の民と、その中にある「名も無き」寺で在り続けることが出来るよう、一族と共に、一層精進しなければならぬとあらためておもうのです。平成の現在は庫裏も建ち、本堂も改築されましたが、十二神将は変わらず本堂にしっかりと大事に祀っております。



「本堂に安置される十二神将の一部」

仏事に関する よもやまばなし

「お焼香の作法を教えてください」
と聞かれます。お焼香の作法は、お葬式や法事、墓参りの時などに出る順番は？何回すればいいの？つまんだら押し戴いてから？などなど、仏事に参加するときは参加者の注目を一身に浴びて、一番緊張する瞬間ですね。



焼香は、「香を焚き、場を浄める」ために行う作法です。儀式作法を厳格に行うため、良い香りです。その場の空気を一新し、身も心も改めるためのものです。

一般に良く目にするのは角香炉という形のもの。(写真参照) 仕切りの右には抹香という香木を細かくしたものを。左側に灰が盛ってあり、火の

- ① 自分の番になったら速やかに真前(仏様の正面)まで 行き、正面を向きます。
- ② このとき、お坊さんにおしりを向けることになる場合は、合掌一礼してから真前しましょう。
- ③ 合掌礼拝して、一度だけ、右手人差し指、親

{け} あいうえお用語辞典 けさ (袈裟)

出家者がまとう衣服のこと。本来は長方形に縫い合わせた雑布を左肩に掛け、素肌を巻くように着るのですが、日本はインドよりだいぶ寒いので、袈裟の下に衣を着用します。江戸時代の傑僧、仙崖和尚の所に檀家の饅頭屋が、出来たての饅頭を持ってきました。

急いで来たのか、作業服のままの姿。そこで和尚は持っている中で一番豪華な袈裟を着て出迎えた。「あなたの一番の正装は仕事に励むその作業着じゃ。だからワシも正装したんじゃ」互いに尊敬し合う思いこそ、仏法の根本です。

指で香をつまみ、そのまま炭にくべます。(押し戴かない)
④ 再び合掌し、右足から一歩下がり、礼拝します。
⑤ 速やかに自席に戻ります。ポイントはいくつ。
回数は一回。押し戴かない。丁寧に合掌礼拝。
このとき気をつけたいのが、順番を譲り合わず、座った順で、
・ たくさんくべすぎない
・ 合掌礼拝は仏様に(遺族や参列者には)はしなくともよい)の三点です。
回数基本的には一回で充分ですが、宝泉寺以外のお寺での法要に参列したときは、その御導師様の御指示に従ってください。(指示のない時は一回でよい)元々お香は、お釈迦様の時代からよく使われていました。
インドは暑い国ですから、どうしてもにおいが気になります。食べ残しや、排泄物、動物、自身自身のおいが今よりずっと大変だったでしょう。坐禅瞑想の時にはその場の空気を清浄にする必要があります。そのためのお香木をお釈迦様をはじめとする修行者達へのお布施として信者が供養するのが習慣だったようです。
今では仏様をお祀りするその場を浄め、捧げるお供物を浄めるためと、そのよい薫り自体を供物

大切なお知らせ

当山併設「葬祭場宝泉寺別院」が開場以来20周年を迎えました。

これを記念して、使用料金改定を行いました。檀信徒の皆様には今後、式場使用料は無料となります。これにより、これまでより更にお金の心配をせずにキチンと儀式を行えるものと思っております。葬儀社の過当競争が激しくなり、葬儀式に関する様々なトラブルを良く耳にするようになりました。万が一の時にはまず宝泉寺にお電話ください。互助会などに参加している方も、まず宝泉寺へ。

宝泉寺 (042-661-3353)

平成27年度 年忌表

平成26年に亡くなった人は今年	1周忌です
平成25年に亡くなった人は今年	3回忌です
平成21年に亡くなった人は今年	7回忌です
平成15年に亡くなった人は今年	13回忌です
平成11年に亡くなった人は今年	17回忌です
平成5年に亡くなった人は今年	23回忌です
昭和64年に亡くなった人は今年	27回忌です
昭和54年に亡くなった人は今年	33回忌です

今生きていることが祖先のおかげであり、全くありがたいことだという思いを新たにすることです。少人数でもかまいませんので是非行ってください。また、毎年忌(命日供養)や祥月命日供養、日取りにこだわらず、追善供養も出来ますので、是非ご相談ください。日程のご相談はなるべくお早めに!



「研修会に参加した佐々木さん、守屋さん、水越さん」

本山研修会ご報告

去る10月9日から3日間、大本山南禅寺にて、南禅会男子研修会が行われました。各寺院から代表者が参加し、写経や坐禅の講習、作務や南禅寺派管長様の法話など、貴重な体験をして頂いたとおもいます。

今回本山からは守屋清さん、佐々木裕幸さん、水越幸雄さんの3人に参加してもらいました。

「普段は見れないところまで詳しく案内してもらった。大変勉強になった」と守屋さん。研修会ならではの経験をしていただけたものと思えます。

もともとお友達の方3人でしたので、和気藹々と楽しく参加していただきました。本山の信徒部長様には、あとで「宝泉寺は檀家さんが元気でいいなあ」とお電話まで頂きました。

編集後記

お寺のHPをリニューアルします。写真や動画を追加して、より見やすく使いやすくわかりやすく。この寺報のバックナンバーも載っています。

「八王子 宝泉寺」で検索できます。ご覧ください!

宝泉寺 042 (661) 3353

霊園管理事務所から
霊園だより

早いもので今年も師走となりました。寒い日が続きそうですがお過ごしでしょうか。気象庁の長期予報によるとこの冬の予想気温が「平年並みからやや低め」にかわったようです。八王子では毎年二、三度積雪があります。子供たちは喜び大人達はため息をつきながら雪かきをしているイメージです。この冬がどうなるのか気になります。食べ物や少なくなっているせいか、町中にカラスが目立つようになりました。霊園内にも降りてきてお花などを散らかすので困りものです。お供物はお持ち帰りになつていただき、茶碗やコップ類などはなるべく置かないようにするか、低い所に置いていただく方が良いでしょう。管理事務所ではこの年末年始ともお花お線香をご用意して皆様をお待ちしておりますのでぜひご利用ください。

八王子南霊園
管理事務所 畑山

ホームページ: <http://www.housenji.net/> E-mail: info@housenji.net



スマートフォンでも
ご覧いただけます。